

H31学力向上アクションプラン(玖珠町)

目標及び指標

【目標】

- 児童生徒の基礎基本の更なる徹底
- 「新大分スタンダード」に基づく授業改善の徹底（教科指導力の向上）

達成指標	取組指標
○町確認テストにおいて、目標値を超えた学校数小中学校(6/8)	○全教員が単元プランに基づく「付けたい力」を明確にして「めあて・課題・まとめ・振り返り」を位置づけた授業を実施する。(学期ごとのアンケートで100%) ○学力向上支援教員公開授業を全教員が1回以上参観し、公開授業で参考になったことを自校で環流をする。(同じ実践をした教員数→15人) ○学力向上支援教員の他校訪問での授業観察による助言・支援(各支援教員7回) ○小中連携会議を実施する(年間3回) ※学力向上に向けたテーマを設定し、互見授業や相互参加授業を実施する。
○町確認テストにおいて、正答率50%未満の児童生徒の割合。(10%未満)	○補充学習の計画書作成及び報告書提出(100%) ○町確認テストの分析結果を活用した取組の計画・実施をする。(100%)

行動計画

①「新大分スタンダード」に基づく組織的・計画的な授業構想と実施による質の向上について

- 授業における付けたい力を明確にし、授業の「ねらい」と評価規準を連動させる。
- 付けたい力(具体的な評価規準)と連動した「めあて・課題・まとめ・振り返り」の設定のために、教務主任・研究主任を中心とした校内研究で研修を行い、実践する。
- 授業の質の向上のために、「新大分スタンダード」に基づく授業観察シート等を活用した管理職の授業観察及び教職員の互見授業を行う。
- 「新大分スタンダード」に基づく授業の質の向上のために、学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員による「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業を実施する。
- 「新大分スタンダード」の徹底のために校内研究への指導主事の派遣(各校3回以上)を行う。

②「中学校学力向上対策3つの提言」の3つの項目(6つの視点)の実施に関して

- 平成31年4月に新中学校(くす星翔中学校)が開校
→生徒一人ひとりに「夢」と「絆」と「志」を育む学校を学校像として開校します。
- 1 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底
 - 授業改善のために、「授業改善の5点セット」を活用し、校内研究を充実させる。
 - 授業改善のために、教科別等の研修会を実施する。
 - 「新大分スタンダード」の徹底のために、学力向上支援教員の他校訪問による授業観察と授業観察後の助言・支援を行う。
 - 「新大分スタンダード」の徹底のために、校内研究への指導主事の派遣(3回以上)を行う。
 - 「新大分スタンダード」の徹底のために、習熟度別指導教員による「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業を行う。
 - 2 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築
 - 教科指導力を磨くために、定期的に教科部会を行う。
 - 教科指導力を磨くために、複数の教科担任がいる教科で「タテ持ち」を行う。
 - 3 「生徒と共に創る授業」の推進
 - 授業改善のために、生徒による授業評価を実施する。

③小学校教科担任制の推進に関して

- 【今年度の状況】
小学校高学年での担任間の教科担任制は実施していない。
森中央小学校、塚脇小学校、北山田小学校の3校で、高学年において、専科指導教員と担任が習熟度別指導や少人数指導、TT指導を実施している。
- 【平成31年度】
学年の学級数、子どもの学力差、特性を持った子どもへの対応などから、専科指導教員と担任による習熟度別指導、少人数指導、TT指導の実施が効果的である。

④新学習指導要領の実施等に関して

- ※小学校外国語への対応(必須)
 - ALTの配置
 - 小学校外国語担当者会を開催し、研修と情報交換の実施
 - 玖珠郡教育研究協議会での小中外国語部会の合同研修会
- ※学校の教育目標の明確化と、総合的な学習の時間との関連等について
 - 年度当初の校長会・教頭会において、周知徹底を行う。
- ※地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)について
 - 平成31年度のコミュニティ・スクール対象校：小学校→5校、中学校→1校